



魂の教科書

《 1 》

魂に貴賤は無い
光のメッセージ

令和の母 高橋久美子

初めに。

ー神理は身近にある気付きですー

世間では本当の愛を知って、一人前の人間になるといいますが、
魂の世界でも同様に、神の愛の真理を知ること魂が成長し、
大人の魂を持つ人間になり、それに至れば、より深く真理を体現できるのです。
神は愛の世界在って、世界の根源ですから、神に対する正しい愛し方をしないと
本当の神は来ないし、降臨しません。

神がどうの、と書き出したら「なんだ宗教か」と反発する人は高橋をスルーしてください。
でも、人間として真に靈性を高めたいと望む人や、神に興味はあるけれど、
どうアプローチして良いかわからないという人は、一読をお勧めします。
真剣に靈的世界を学びたいという人のために書きました。

index

★光の家・魂の里・幸せのメッセージ

★神の世界は公明正大 ★神の想念は真

★魂に貴賤は無い

★まっすぐ行こうよ真っスグ！＜お稲荷さんのメッセージ＞

★「地球は一家 人類は兄弟」の真意

★学びは魂の栄養 しっかり学んで魂を拡大しよう！

★生きがい自分流

★自分の中の光の部分に気付きましょう！

★生かされていることに感謝！＜お稲荷さんのメッセージ＞



人間は幸せになるために創造されました。
今の苦しみは、その過程の、ある状態なのです。
苦しみにとらわれず、
神と諸霊と気持ちを分かち合いましょう。
苦しみに長くとらわれて、
生きる意義を忘れるのは、迷い、です。
もっと自分自身の霊性を信じましょう。
今生きているのは惰性ではなく、
神霊が貴方を必要としているからです。
スピリチュアルにおける幸せとは、
エゴの追求ではないのです。
それは現世の状態を言うのではなく、
神霊と諸霊との実在的關係性の中にあります。
現世の表れでは、孤独で、独りで、
何もできない人間であっても、
神霊と諸霊の關係の中で自己実現できるなら
恵まれた人間なのです。
金持ちになったり、有名になったり、
友達がたくさん居るなど、それは物霊の表出です。
現れると消えます。現世的にはどんなに立派でも、
霊性がなければ無意味です。
諸霊に必要とされない人間は無意味です。

スピリチュアルの教えは、
神霊と諸霊に必要とされる人間になりなさい、
そしてそれは、神や諸霊とともに幸せになる、
ということなのです！

私がこのように主張すると、物欲のある人は
「では楽をしていいんだ、働かないで楽しくやろう」
とズルいことを考えるようですが、「幸せ」と「楽する」ことは全く違います。
物欲を捨てて、神理に適う生き方をしましょう。
理性を持って考えるなら、真の幸せが分かります。

★神の世界は公明正大

神界は公明正大、一点の曇りも無い日本晴れ！
地上は大嵐でも、その雲の上は晴天です。
現世を覆う業の雲を超えると、そこには広大な霊界が広がり、
太陽の光が無限の彼方まで放射されています。
人は現世に在りますが、神が頂いた魂は、いつも神と共に在るのです。

心の中の業想念の雲を取り払い、
神界の光で満たしましょう。
現世の執着を振り払うのは難しいですが、
一瞬でも執着心を解くなら、神の光を満たせます。
日の出の太陽を観想し、業想念を解きましょう。

スピリチュアルは「気付き」の積み重ね、
時期が来ると悟ります。

<天御中主のメッセージ>

★神の想念は真

物霊の想念を表出すると、遣った遣られたという対立関係になりますが、
神の想念も高級霊を通じて、人の想念となります。
人にとっては、自分の心の中の想念ですが、この物霊の想念と神の想念は、
本質的にはどう違うのでしょうか？それとも違いは無いのか。
この想念の区別が日常的に出来ることも審神者なのです。

神からの想念は“まこと”なんです。
人間世界に於ける物霊と神の想念、人間以下の世界に於ける物霊と神の想念、
幽界以上の世界に於ける物霊と神の想念、それぞれ違うと思います。
しかし総てを通じて共通するのが、総てが神であり、総てが救いに繋り、
神が物質を通じて物霊に高級な神の心を持たせる事だと思っています。

人間の立場で言えば、物霊は個を守ろうとする想念であり、神の想念は
無限に発展させようとする想念となります。

★魂に貴賤は無い

人間は、神の子として平等である、といますが、それはスピリチュアルの立場から平等という意味です。

現世的成功者を見て、「あいつらだけ良い思いしてる、神様は不公平」と言う人が居ますが、それは見当違い。

物質現象は、過去世のカルマの表れです。

金持ちになったり、ノーベル賞もらったり、有名になったり、という現象は、その人の過去の行為の現れで、消えていく姿です。

金持ちになったり、ノーベル賞もらったり、有名になったり、しても、現世で現れてしまうと

、それで消えてしまいます。霊界に行ったら、ただの人というわけ。

現世でも、定年退職するとただのオヤジでしょ。

どんなに偉い役職にいても、その仕事をリタイヤするとただのお年寄り。

物質現象に惑わされないで、魂の光を見ましょう。

男性に多いですが、現役時代はエリートで出世して、部下を顎で扱う人生を送り、

退職してからもその調子で、周囲の人間に威張り散らす頑固オヤジがいますが、

その人は確かにりっぱな職業人で社会のために働いていたかも知れませんが、人に与えるという、魂の光はありません。人は魂を磨くために現世にいます。

老年になって、家族や周囲を見下す態度でいては、

この調子では生きてきた意味はありませんね。

魂に貴賤はありません、相手が、目下だから、身分が下だから、

学歴が無いから、とって絶対にバカにしては行けません。

上から目線になっていると、自分の魂の方が低い状態になっています。

魂を光らせる方法は、相手と共感しあうこと！

それしかありません。（同情や依存ではなく、内なる光の交流です）

相手の存在を認めて、相手の魂と交流しあう。

そうすれば互いに互いの魂を光らせることができます。

その相手が神様なら、good ですね。。。

★まっすぐ行こうよ 真っスグ！＜お稲荷さんのメッセージ＞

人生 まっすぐ行こうよ。

迷っちゃうのは足元ばかり見てるから。

顔をあげて少し背伸びをするとゴールが見えるよ。

背伸び続けると疲れちゃうけど、光が見えるでしょ。

光に向かって歩かないとね！

光は、見ていると元気になるから、疲れも軽くなる。

真っ直ぐ前を見ようね、

つつい猫背で、うつむいちゃう、

ダラーンは楽だけど光は見えないよ。

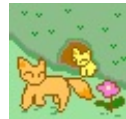
光に向かって、真っスグ、真っスグ

頑張って上を向いて、真っスグに

光りの中では皆が待ってるんだよ！

待ってるからね、必ず来てね！

by [高橋くん](#)



★「地球は一家 人類は兄弟」の真意

地球は、魂の里です。万霊は家族です。では、万霊が家族とは、どんなことなのでしょう？

「地球は一家 人類は兄弟」という標語がありますが、理屈は分かりますが、無差別殺人犯や、意地悪なお姑さんを“兄弟”と受け入れるには抵抗がありますよね。

同じ人間ということは分かっているけど、自分に悪意を向けてくる人や、社会で悪事を重ねる人間を、感情的に許すことはできません。でも、ペットの動物たちには、とても共感して、家族のように思えます。人間じゃないのに、ペットの犬や猫、インコには、本当の家族のように感じます。動物嫌いの人から見ると「人間を優先にするべきなのに、非常識だ」と思うようです。ペットを大切に人は、何故、人間じゃない動物を家族のように感じるのでしょうか？同じ人間なのに、許せない人間があるのは何故なのでしょう？「地球は一家 人類は兄弟」は、頭では分かっていますが。それは、真心でしょうね、ペットの犬や猫には真心を感じます。でも、人間には感じませんよね。

うちにも犬がいますが、犬は私を全面的に信頼しているようで、私の姿を見ると喜んでくれます。単純に一緒に居ると嬉しいようです。犬の真心でしょうね。犬は飼い主の人間を疑いません。素直に受け入れてくれてくれます。それに対して人間は、同じ人間だというのに、真心が見えません。何を考えているかわからないので、互いに適当に合わせて付きあいます。心が通じているはずの夫婦でさえ、仮面の付き合いになりますよね。

人間には利害関係と言うものがあり、また、依存心や自己愛など、真心を曇らせる要因が多いものです。それに対して動物は素直に心を現わします。つまり、家族とは何か？ というなら、その真心なのです。互いに真心を与え合う者たちが仲間であり、家族でしょう。私の言っていることは理想ですかね、でもこれはスピリチュアルの話なので、魂の問題です。魂は、真心の世界なのです。自分の魂の中の真心を、素直に出せる環境を作りましょう。それは、魂の仲間と交流することです。魂の仲間を得るのは、現世に塗れて暮らしていると、凡夫の状態では難しいです。もしかすると、妻や夫、子供やお姑さんが魂の仲間かも知れないのに、自己愛が真心を曇らせるので、気が付かないままになることが多いです。

私も義父に「最低の嫁、馬鹿女」と言われています。義父は私の真心が分からないのです。彼はプライドが高く、自己愛の強い人で、自分が一番正しくて偉いと思っています。他界すればわかるとは思いますが。自分の周りの真心に気付くことは、自分の魂を成長させることでもあります。「地球は一家 人類は兄弟」という標語の真意は、真心の覚醒にあります。自らの真心を与える勇氣と、相手の真心を信じるやさしさが必要なのです。

ペットの犬や猫たちのように、人間の真心を素直に信じられるようになりたいものです。万霊は、神の真心の発現であります。現世のしがらみを取り払い、素直な心で、万霊の真心を信じましょう。

★学びは魂の栄養 しっかり学んで魂を拡大しよう！

犬の気持ちと人間の使命。動物には人間の本心がわかる。

犬は尊敬すべき飼い主を得て幸せになるが、人間の魂も、真理の道を得て大成するのです。真理に向うことで使命を知る。

生きている意味が不明だとやっていられないですよ。無意味な人生ですよ。

お釈迦様の言う通り、消えるための世界なら初めから無ければ良いのに

意味は無いのかも知れないが、自我を拡大させていこう。

知りたいことを知り、学びたいことを学ぼう。それは魂の本能でしょう。

肉体が食物を取るのと同じ。学びは魂の栄養だから。

学ぶこと、自我を拡大することは自然の欲求であり、意味は問われないもの。

「勉学は魂の糧である。怠ることなく求めなさい」 私のガイド、マイスターのメッセージですが、要するに「人生は勉強！」という意味ですね。スピリチュアルの道の目標は「自立した魂」になることです。そのためには、常に自分を高め、学んでいきなさい、ということ。今の若い人は、自分で調べない人が多いですね。ウチの娘もそうでしたが、すぐ誰かに聞きます。「この言葉の意味何なの？」「この感想文何書いていいのか教えて」最終的にはネットで検索ですが、検索するだけでもましですか。。。ほとんどの人は面倒なので、分からないままで済ませますね、「ちょっと調べれば良いことじゃない？」と言うと「難しいから分からない、パソコン使えないもの」と言い訳します。人間は楽な方を選びますから。。。でも、楽な方ばかり選んでいると、いろいろな意味で落ちていくだけです。そして最後は何も出来ない自分になっています。

なぜ人間は楽を選ぶのか？ それは肉体を持っているからです。肉体には肉体の霊、体霊がありますが、体霊の使命は「守る」ことです。魂を守り、自我を守ります。体霊のその「守る」力は、肉体を維持し、危険を冒さないことです。それはリスクの無いのんびり生活を続けるということです。人間が「楽」を求めるのは肉体があるからです。

しかし、人間は霊性をもつ生き物です。神から分かれた魂を持ちます。神は、与える力の根源です。たがら宇宙は限りなく広がっているでしょう。神の与える力が表出されているから、終わることなく展開していきます。その与えて表出される力の一部を担うのが人間の魂です。と言うことは、人間の本質は「楽」ではありませんよ。

肉体は「楽」に依存しますが、人間の魂はその肉体を持ちながら広がり続けます。神の力によって広がり続ける宇宙のように、人間の魂も広がり続けるのです。すなわち、それが「学び」なのです。「学び」は、神から分かれた魂の本質なのです。肉体の「楽」に負けずに、自らの魂の求める道を進みましょう。

勉強は魂の栄養です。魂が求める「学び」の気持ちを無視しないように！

★生きがい自分流

生きがいて何でしょう？

私の個人的な経験では、生きがいは、他の人との関わりで実感できるものと考えます。

私も、今までの人生の大半は生きがいが分からず、孤独で無意味と感じる毎日を送っていました。

特に、始めの結婚は、自殺願望があり、毎日死にたいと思い続けていました。

無味乾燥な毎日で、全くの孤独でした。

休める場所がありませんでした。家族は他人よりも遠い存在でした。

今、その時の自分を思い返し、「何故孤独で、家族も他人以上に他人に感じたのか」と反省すると、

それは、「動かなかったから」「自立していなかったから」という結論に至りました。

自分の力で、自分の人生を切り開いていけば、無味乾燥とも感じないし、

家族に対しても感謝の気持ちが生まれます。

離婚して、しばらく経済的にきびしく、体調もどん底の状態が続きましたが、

不思議と死にたいとは思いませんでした。

離婚前より状態が悪く、子供と心中しても仕方の無い生活だったのに、精神的には安定していました。

それは、自分の力で、自分の為に生きている、という実感があったからです。

生きているという実感があれば、厳しい現実を乗り越えていけるのです。

それは、自分で一步を踏み出して、自分の道を自分で切り開くということです。

でも、生きがいが分からないという人の中に、そんなことは理想論とか、

やっぱりどにもなら無いといって無気力な人が居ます。

本当に生きがいが欲しいなら、先ず、自分の心を反省して、

無気力なところが無いか見つめましょう。

自分の人生は自分だけの宝です。無気力と怠け心で過ごしてはいけません。

生きがいは努力して歩み続けるものの中にあります。

★自分の中の光の部分に気付きましょう！

自分の想念や行動の中の、光の部分が本当の自分です。
それは自分自身の魂のメッセージを感じることに。

たとえば、

「いつもイライラして家族との喧嘩が絶えない、この家族とは悪いカルマがあるのではないかな？」
「付き合う相手が浮気ばかりするのは、前世でなにかあったのかしら？」

という感じで、自分の悪い現われを霊に求める人が居ますが、それは要するに、迷いそこで光が沸いてきたら、

「また家族と喧嘩したけど、機嫌の良いときもあるんだから、今度は様子を見て仲直りしよう。
本当は良い家族なんだもの」

「よく考えるとチャライのばかり相手にしていた、もっと自分が大人にならないとだめかな」
このような、前向きな気持ちが本当の自分です。

でも、トラブルの最中は、中々光に気がつきません。

喧嘩しているときは、向きになっていて、相手を責める想念が大きくなるし、
失恋するときも「なぜ、どうして？」の気持ちから抜けられません。

しかし、落ちている合間でも、気持ちが落ち着くときもありますよね、
友達に悩みを聞いてもらったときや、テレビをみてちょっと休憩するときなど、
そんなときに光が沸いているはず。

(リラックスしているときは守護霊や神霊の波動を受けやすい)

その光の瞬間を見落とさないようにしましょう！

それは、本当の自分からの魂のメッセージ、光のメッセージです。

魂のメッセージを見落とさないようにするのは、

日頃から、自分の本心や、自分が本当に大切に思うものを認識しておくことです。

本心から家族が大切、夫や妻、子供、親が大切という自覚があれば
だんだん彼らとは大きな喧嘩はしなくなりますよ。

恋愛についても、自分の人生にとって、何が大切か？

を考え直せば、変な相手とは付き合わないでしょう。

自分の中の光の部分が、本当の自分です。それは魂のメッセージ！

本当に大切なものはなんなのか、いつも意識しまよう。

魂にとって大切なものは、自分自身と、相手にもある魂。

自分の魂を感じる事が出来れば、相手の魂の光を感じる事ができます。

★生かされていることに感謝〈お稲荷さんのメッセージ〉



生かされていることに 感謝、感謝！

独りじゃないよ、生かされているんだよ

独りで生きているんじゃないよ、

生かされているの

胸に手を置いて、心のを聴いてみよう

心臓の鼓動だけじゃなく、何か聞こえるでしょ

心の中には全部あるんだよ、みんな此処だよ

心の耳を澄ませばわかるはず

みんな一緒に生かされているでしょ。

by [見習い稲荷 高橋くん](#)

「魂の教科書」《 1 》

著者：令和の母・高橋久美子

[ピア・スピリチュアル](#)